

3月のイベントカレンダー

1	木	
2	金	
3	土	
4	日	休館日
5	月	休館日
6	火	13:30 日本語サロン
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	10:00 子ども日本語ひろば
12	月	休館日
13	火	13:30 日本語サロン
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	休館日
19	月	休館日
20	火	13:30 日本語サロン 18:30 幹事会 国際交流員採用試験応募締切
21	水	休館日
22	木	15:00 理事会
23	金	
24	土	10:00 ハローワールドクラブ
25	日	10:00 子ども日本語ひろば
26	月	休館日
27	火	
28	水	
29	木	18:30 日本語ボランティア打合せ
30	金	10:00 日本語ボランティア打合せ
31	土	13:30 FINE発送作業 16:00 会員交流会

内閣府青年国際交流事業 (日本青年海外派遣)

福島県では、広い国際的視野と国際協力の精神を身につけた次世代を担う青年の育成を図るため、内閣府青年国際交流事業への参加者を募集します。

事業種類 国際青年育成交流事業、地域課題対応人材育成事業、東南アジア青年の船事業など6コース(18歳~30歳の青年が参加対象となるもの4コース、23歳~40歳の青年が参加対象となるものが2コースあります。

福島県推薦者応募締切 3月30日(金)
問合せ 福島県子ども未来局子ども・青少年政策課
TEL 024-521-7187

※事業概要、応募要領などの詳細はウェブサイト「内閣府青年国際交流事業」をご覧ください。

第2回 ふくしま多文化共生セミナー

いま、福島県内に住む外国人は1万人。このうち6800人が女性です。中国やフィリピン、韓国出身の国際結婚移住女性が多いからです。「外国にルーツをもつ女性たち」と一緒に、「多文化の街」を作るために、海外の例を参考にしながら考えましょう。

主催 ふくしま多文化共生研究会
後援 福島県国際交流協会

日時 3月3日(土)午後2時~3時30分
場所 福島県国際交流協会
(福島市舟場町2-1 福島県庁舟場町分館2階)

テーマ 知っているようで知らない福島で暮らす外国の人たち part2 ~韓国や台湾に住む「結婚移住女性」政策の比較から~

ゲストスピーカー 李善姫さん(東北大学東北アジア研究センター)

参加費 無料(定員30名)
申込先 eiwan311@gmail.com

お手伝いをお願いします

おしゃべりをしながら、情報紙FINEの発送作業のお手伝い(封づめ、糊付けなど)をしてみませんか。申込不要、当日直接お越しください。

日時 3月31日(土)13:30~ (場所:当協会)

臨時閉館のお知らせ

会員交流会(ボウリング大会)実施のため、3月31日(土)15:00~ 当協会事務所は臨時閉館とさせていただきます。ご協力よろしくお願いたします。

会津若松市国際交流協会

〒965-0871 会津若松市栄町2-14
レオクラブガーデンスクエア5階
TEL 0242-27-3703 FAX 0242-27-3704
ホームページ http://awia.jp メール mail@awia.jp

会津若松市国際交流協会 情報紙

FINE

Freedom/International/Necessity/Experience

会員交流会

会員交流会 ボウリング大会!

今年度も当協会の事業にご協力いただき、ありがとうございました。ボウリングやおしゃべりを楽しみながら会員さん同士交流の輪を広げましょう! ボウリングのみの参加も、懇親会のみの参加も大歓迎です。ボウリングはグループを作って行きますので、お1人でもお気軽にご参加ください。一緒に楽しいひとときを過ごしましょう!

日時 3月31日(土)
第1部 ボウリング大会 16:00~18:00
第2部 懇親会 18:30~20:00

場所 スポーツ会津ロイヤルボウル
マーティン(懇親会)

参加費 ボウリング大会 1,100円(2ゲーム代、靴代)
懇親会 3,500円(学生2,000円)

申込み 3月28日(水)まで当協会へ
※3月30日(金)以降キャンセルされた場合は参加費をいただきます。ご不明な点はお問合せください。

春期 日本語会話教室

当協会の日本語ボランティアが丁寧に指導します。ご近所やお知り合いの方で日本語を習いたいという外国人がいましたら、当協会へご紹介ください。英語、中国語、韓国語のちらしも用意しています。

日時 ★夜間コース 毎週木曜日 18:30~20:00
4月5日~6月28日(全12回)※5月3日は休み
★午前コース 毎週金曜日 10:00~11:30
4月6日~6月29日(全12回)※5月4日は休み

内容 日本語の文法を中心に、レベル別グループレッスンで学習します。

申込み 3月28日(水)まで当協会へ。
初めて参加する方は、クラス分けのための簡単なレベルチェックを行います。
お早目にお申込みください。

場所 会津稽古堂
受講料 会員 4,000円 会員外 6,000円

《日本語ボランティアの方へ》 春期日本語会話教室の開講に先立ち、夜間コースは3月29日(木)18:30から会津稽古堂交流ブースにて、午前コースは3月30日(金)10:00から、当協会にて事前打合せを行います。

《日本語能力試験 7月1日(日)実施》 外国人のための日本語能力試験は、「日本国際教育支援協会」のウェブサイトから申込みができます。受付期間は3月26日(月)~4月25日(水)17:00です。願書は1部500円です。

ハローワールドクラブ

市内の小学1~6年生を対象に、毎月1回、国際理解のクラスです。今回はメキシコの文化紹介で、ゲストはカーラ アラセリ マルティネス センズさんです。お申込みは、3月23日(金)まで当協会へ

日時 3月24日(土) 10:00~11:30
場所 会津稽古堂3階 研修室1
参加料 700円



職員募集

当協会職員(国際交流員)を募集します

受付期間 3月1日(木)~20日(火)
採用予定人員 1名
職務内容 国際交流事業に係る庶務全般(総務・経理)及び企画・運営
応募資格 日本語を母語とし、英語・中国語・韓国語のいずれかの日常会話レベルの能力を持つ人

1次試験 書類審査
2次試験 1次試験合格者のみ面接試験
採用予定日 5月1日採用予定
応募書類 履歴書、職務経歴書
詳細は当協会、またはハローワークへ問合せください

※各事業実施に伴う写真撮影及び掲載許可について(お願い) 事務局が皆様の活動の様子を撮影し、情報紙やホームページ等に掲載する場合があります。掲載されたくない場合はお申し出ください。

新年ポットラックパーティを開催しました



1月27日(土)に冬空の合間のやわらかな日差しが差し込むなか、新年恒例のポットラックパーティを開催しました。31名の皆さんが参加し、それぞれ持ち寄った料理に舌鼓をうちながら、交流の輪を広げました。書初めコーナーでは、参加者の皆さんが、日本語で思い思いの気持ちを、楽しく真剣に書き上げていました。皆さんの力作を協会に掲示してありますので、お近くにお越しの際は、どうぞご覧ください。



ワールドツアー ブラジル編を開催しました

2月17日(土)にワールドツアーのブラジル編を開催し、16名の参加者が講師の荒井ソニアなおみさんから、ブラジルの歴史や多様な文化、そして食についてのご紹介いただきました。ワールドカップサッカーや地方ごとに行われるカーニバルの様子や、普段の食事からクリスマスやイースターの料理まで、映像を交えながらのお話でした。ソニアさんは、母方の曾祖母が相馬市出身であることから、日系移民の話にも触れ、福島とブラジルのつながりを感じることができました。後半は、ブラジルコーヒーとソニアさんお手製のブリガデーロスというスイーツなどをほおぼりながら、楽しくあたたかな交流のひとつとなりました。



ソニアさん、振袖がお似合いです！

ソニアさんは昨年4月に来日し、2017年度の県費留学生として会津大学でウェブプログラミングを専攻していました。

2月19日に修了証書授与式が県庁で行われ、振袖姿で出席したソニアさんは、「自分のルーツである福島のことを学べて良かった」と話しています。

式では内堀雅雄知事(写真左)がソニアさんに修了証書を手渡し、

わたしの お国日和

ベロニカ&ビクトル from ベラルーシ Veronica & Victor Khaustov



今回は、ベラルーシで人気の伝統行事「マースレニツァ」(またはバター週間)を紹介したいと思います。これは、正教会のイースターの8週間前に迎える春を祝う週間のことです。現存するスラブ最古のお祝いのひとつで、ベラルーシ、ロシア、ウクライナで残っています。今年の「マースレニツァ」は、2月12日から2月18日の週に行われました。

行事の名は、有名で伝統のあるパンケーキ作りから由来しています。そんなわけでマースレニツァの祝いには、パンケーキが重要な役割を果たします。バター週間の間にたくさんのパンケーキを焼き、友人や家族に配ります。キャビア、ジャム、サワークリームやキノコ、そしてもちろんたっぷりのバターをつけて食べます。

近年、ベラルーシではハローウィンやバレンタインデーなどの他の国から入ってきた行事や伝統が多く祝われていますが、マースレニツァは他の国でなかなか見つけることのできない東ヨーロッパ独自の伝統的な行事なのです。



(カラー印刷でなくともめんなさい)

皆さん、こんにちは！私たちはベロニカとビクトルです。私たちは会津大学で勉強するためにベラルーシから来ました。ベラルーシは東ヨーロッパに位置し、人口は、950万、面積は、日本の約半分です。

日本の多くのみなさんは、ベラルーシの冬は寒いと思っていますが、半分は、ほんとうです。時にはマイナス27度まで下がりますが、一番寒い月の平均気温はマイナス7度ぐらいです。でもベラルーシの人たちも、もちろん暖かい方が好きで、出来るだけ早く春が来てほしいと願っています。



ジョシュア・トゥイーティーの My Aizu from My Eyes

2月11日(土)に、只見町で開催された素敵な雪まつりに行ってきました。第46回只見ふるさと雪まつりです。只見町は日本の雪景色として、一番有名な町のひとつです。素晴らしい雪像がたくさんあり、幻想的な鶴ヶ城の大雪像もありました！出店もいっぱい並んでいて、私はクマ肉みそラーメンを食べました。不思議な味でした！夜は素晴らしい花火も見られました。

私の出身地のクライストチャーチ(ニュージーランド)では、雪がめったに降りません。もし降ったら、すぐに消えてほしいとみんなは願います。雪を楽しまないで、雪を祝う祭りありません。冬は寒い、寒い、寒い！それなのにどうして日本人、特に会津の人は、冬の祭りが好きなのでしょう。

週末には、只見町以外でも、数えきれないほどの雪まつりが開催されました。会津若松市、大内宿、三島町、そして白河市でも開催されました。どうしてみんなは家のなかで、温かいこたつに入り、春を待っているのではなく、外に出かけて祝うのでしょうか？

日本人の友人に聞いたら、冬の祭りが人気の理由をいろいろ説明してくれました。「冬の空がイルミネーションを明るく見せるから。それに外はそんなに蒸し暑くない！」「寒い気温が屋台をもっと美味しくする～焼き鳥、甘酒やビールは全

会津の人は、どうして
雪まつりが好きなの？

部体を温める！」それぞれの理由は理解できませんが、本当の理由はたぶんそれ以外のことだと思います。

会津の人々は、長く厳しい雪の多い冬は、生活の一部であり、季節のひとつだとわかっています。春と春に咲く美しい桜は、もうすぐそこに。であれば冬から逃げる意味は何なのでしょう？会津の人々は冬が自然の生活の一部であり、祝うべきことだと知っています。楽しんで笑うことが、冬の沈んだ気持ちを吹き飛ばす唯一の方法だからこそ、冬を喜んで受け入れるのです。そんなわけで、週末を雪まつりで楽しく過ごせば、春はもうそこまで来ています。

